

平成25年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年1月31日
上場取引所 大

上場会社名 日本精密株式会社
コード番号 7771 URL <http://www.nihon-s.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 財務・経理部長
四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 岡林 博
(氏名) 阪井 明男

TEL 048-225-5311

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,064	13.3	4		11		19	
24年3月期第3四半期	4,689	20.9	326	310.8	285	729.0	283	586.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 16百万円 (%) 24年3月期第3四半期 270百万円 (539.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	1.31	
24年3月期第3四半期	18.60	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	3,384	1,509	44.6
24年3月期	3,162	1,540	48.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 1,509百万円 24年3月期 1,525百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期		0.00		0.00	0.00
25年3月期		0.00			
25年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,990	0.2	269	19.5	244	17.3	224	24.4	14.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご参照下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	15,423,999 株	24年3月期	15,423,999 株
期末自己株式数	25年3月期3Q	203,730 株	24年3月期	203,589 株
期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	15,220,278 株	24年3月期3Q	15,220,492 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
【第3四半期連結累計期間】	
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(以下、当第3四半期という。)における我が国経済は、長期化する欧州の信用不安、世界経済の減速懸念など景気の先行きは不透明な状況が続いておりましたが、12月に発足した新政権への期待から円安・株高が進行し、変化の兆しが見られるようになりました。

このような状況下、当社グループは、生産拠点をASEANエリアに有するという、コスト競争力を活かした営業活動のさらなる強化とともに、生産体制の再構築による高品質な製品の安定供給の実現を引き続き推し進めてまいりましたが、とくに欧州の取引先からの大幅な受注減少の影響が大きく、当第3四半期の連結売上高は4,064,516千円(前年同四半期は4,689,977千円)となりました。

損益につきましては、売上総利益は製造子会社であるNISSEY VIETNAM CO.,LTD.の生産体制の再構築並びに生産増強のための人員拡充、そしてベトナムの物価高騰にともなう給料手当の増加など、人件費の増加をコスト削減では吸収しきれない状況でもあり1,107,683千円(前年同四半期は1,395,217千円)となりました。営業損失は売上総利益の減少に加え、技術継承を前提とした、本社の生産技術・開発部門などの人材若返りのための人員拡充にともなう人件費の増加、(株)村井の新ブランド投入に伴う広告宣伝費及びロイヤリティの増加などにより4,092千円(前年同四半期は営業利益326,366千円)となりました。経常損失は円高による為替差損は縮小しましたが、営業利益の減少により11,614千円(前年同四半期は経常利益285,388千円)となりました。四半期純損失は税負担の増加もあり19,966千円(前年同四半期は四半期純利益283,174千円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

時計バンド

時計バンドの売上高は2,449,701千円となり、前年同四半期比433,490千円減少しました。このうち、国内大手メーカーからは、前年の大型スポット案件の売上部分は減少しましたが、同社のさらなる事業拡大にともなう増産と当社グループの総合力が引き続き評価されたことにより、リピートオーダーはほぼ前年並みの売上高となりました。一方、スイスの高級時計メーカーへの売上は、高級品の需要は依然として低迷しており、欧州の景気低迷の影響も予想以上に大きく140,354千円の大幅な減少となりました。

これにより、セグメント利益は26,207千円(前年同四半期はセグメント利益253,188千円)となりました。

メガネフレーム

メガネフレームの売上高は1,394,068千円となり、前年同四半期比144,130千円減少しました。このうち、(株)村井は、大規模チェーン店向の新素材製品の売上増加、新ブランドの投入などによりほぼ前年並みの売上高となりました。しかしながら、当社のメガネフレーム部門は、新規取引先の開拓は進んでいるものの、ドイツの高級ブランドメーカーからの受注の減少などにより140,223千円の大幅な減少となりました。

これにより、セグメント損失は23,654千円(前年同四半期はセグメント利益45,013千円)となりました。

その他

その他の売上高は220,746千円となり、前年同四半期比47,839千円減少しました。これは主に静電気除去器の売上減少などによるものです。

これにより、セグメント損失は21,409千円(前年同四半期はセグメント損失2,414千円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は3,384,346千円となり、前連結会計年度末と比べ221,697千円増加しました。このうち、流動資産は2,385,868千円となり、102,072千円増加しました。これは主に(株)村井の繁忙期による受取手形及び売掛金の増加87,474千円、納品の期ずれなどによる商品及び製品の増加75,305千円、売上減少による現金及び預金の減少58,475千円などによるものです。固定資産は998,478千円となり、119,625千円増加しました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による増加182,551千円などによるものです。

負債合計は1,875,057千円となり、253,323千円増加しました。流動負債は1,380,284千円となり、111,713千円増加しました。これは主に(株)村井の繁忙期による支払手形及び買掛金の増加169,419千円、長期借入金の借換えによる短期借入金の減少93,371千円などによるものです。固定負債は494,772千円となり、141,610千円増加しました。これは主に長期借入金の借換えによる増加140,197千円などによるものです。

純資産は1,509,289千円となり、31,626千円減少しました。これは主に、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少19,966千円、新株予約権の消滅による減少15,000千円などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月11日付にて公表致しました業績予想に変更ありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、業績予想の修正が行われる可能性があります。通期業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかに開示する予定です。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	880,805	822,329
受取手形及び売掛金	600,989	688,463
商品及び製品	249,734	325,039
仕掛品	303,441	309,402
原材料及び貯蔵品	184,057	183,530
その他	70,304	61,680
貸倒引当金	5,536	4,578
流動資産合計	2,283,796	2,385,868
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	200,823	195,512
機械装置及び運搬具(純額)	279,612	316,246
工具、器具及び備品(純額)	37,153	40,656
土地	123,614	123,614
建設仮勘定	500	1,301
有形固定資産合計	641,703	677,331
無形固定資産		
借地権	157,869	153,856
その他	9,826	79,135
無形固定資産合計	167,695	232,991
投資その他の資産		
投資有価証券	19,787	26,666
敷金及び保証金	27,023	27,720
その他	43,683	47,215
貸倒引当金	21,040	13,447
投資その他の資産合計	69,453	88,154
固定資産合計	878,853	998,478
資産合計	3,162,649	3,384,346

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	561,757	731,177
短期借入金	383,371	290,000
1年内返済予定の長期借入金	160,611	189,132
未払法人税等	7,503	12,411
賞与引当金	31,299	8,431
その他	124,026	149,130
流動負債合計	1,268,571	1,380,284
固定負債		
長期借入金	255,724	395,921
退職給付引当金	97,437	98,850
固定負債合計	353,162	494,772
負債合計	1,621,733	1,875,057
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,565,875	1,565,875
資本剰余金	1,548,980	1,548,980
利益剰余金	1,541,960	1,561,926
自己株式	40,291	40,312
株主資本合計	1,532,604	1,512,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,836	2,476
為替換算調整勘定	851	851
その他の包括利益累計額合計	6,688	3,328
新株予約権	15,000	-
純資産合計	1,540,915	1,509,289
負債純資産合計	3,162,649	3,384,346

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	4,689,977	4,064,516
売上原価	3,294,759	2,956,833
売上総利益	1,395,217	1,107,683
販売費及び一般管理費	1,068,850	1,111,775
営業利益又は営業損失()	326,366	4,092
営業外収益		
受取利息	433	200
受取配当金	1,551	401
受取家賃	2,494	3,268
貸倒引当金戻入額	4,216	4,451
その他	2,757	4,705
営業外収益合計	11,453	13,027
営業外費用		
支払利息	28,606	18,817
為替差損	21,994	609
その他	1,831	1,122
営業外費用合計	52,431	20,549
経常利益又は経常損失()	285,388	11,614
特別利益		
投資有価証券売却益	6,111	-
新株予約権戻入益	-	15,000
特別利益合計	6,111	15,000
特別損失		
固定資産除却損	-	276
和解金	-	9,676
特別損失合計	-	9,952
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	291,500	6,567
法人税等	8,326	13,399
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	283,174	19,966
四半期純利益又は四半期純損失()	283,174	19,966
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	283,174	19,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,296	3,359
その他の包括利益合計	12,296	3,359
四半期包括利益	270,877	16,606
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	270,877	16,606
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	時計バンド	メガネフレーム	その他	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,883,192	1,538,198	268,586	4,689,977
セグメント間の内部 売上高又は振替高				
計	2,883,192	1,538,198	268,586	4,689,977
セグメント利益又は損失()	253,188	45,013	2,414	295,786

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	295,786
減損固定資産の減価償却費の調整	20,902
その他の調整額	9,677
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	326,366

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	時計バンド	メガネフレーム	その他	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,449,701	1,394,068	220,746	4,064,516
セグメント間の内部 売上高又は振替高				
計	2,449,701	1,394,068	220,746	4,064,516
セグメント利益又は損失()	26,207	23,654	21,409	18,857

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	18,857
減損固定資産の減価償却費の調整	9,707
その他の調整額	5,056
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失	4,092

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

(重要な子会社の設立)

当社は、平成25年1月18日開催の取締役会において、カンボジアに子会社を設立することを決議いたしました。

1. 子会社設立の目的

取引先の中国でのカントリーリスク回避に対応するため、ASEANエリアでの生産体制を再構築し、コスト競争力を強化することを目的として、子会社を設立することといたしました。

2. 子会社の概要

名称	NISSEY CAMBODIA CO.,LTD.
設立年月	平成25年3月(予定)
所在地	カンボジア王国
代表者	未定
資本金	未定
出資者	日本精密(株)(100%)
事業内容	時計外装部品等の製造、販売

3. 今後の業績に与える影響

平成25年3月期の当社の連結業績に与える影響は軽微となる見込であります。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
時計バンド	1,848,170	10.2
メガネフレーム	215,108	4.8
その他	214,688	14.4
合計	2,277,967	10.2

- (注) 1 セグメント間取引はありません。
2 金額は、販売価格によっております。
3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
時計バンド	2,105,849	19.9	436,639	43.9
メガネフレーム	1,421,082	+6.4	509,552	18.6
その他	200,379	20.0	35,082	37.0
合計	3,727,311	11.6	981,273	32.8

- (注) 1 セグメント間取引はありません。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
時計バンド	2,449,701	15.0
メガネフレーム	1,394,068	9.4
その他	220,746	17.8
合計	4,064,516	13.3

- (注) 1 セグメント間取引はありません。
2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
RADO WATCH CO.,LTD.	581,136	12.4	440,781	10.8
カシオ計算機株式会社	1,073,848	22.9	818,445	20.1
CASIO COMPUTER(HK) LTD.	861,097	18.4	710,445	17.5
CASIO ELECTRONICS (SHENZHEN) CO.,LTD.	282,571	6.0	401,085	9.9

- 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。